

## 富山県放デイゆるゆる大運動会 実施概要

- **名 称** 富山県放デイゆるゆる大運動会
- **日 時** 令和2年11月28日（土曜日） 10時～12時
- **会 場** 【現地会場】晴天時：富山県空港スポーツ緑地陸上競技場  
雨天時：富山県総合体育センター中アリーナ  
【オンライン参加】各放課後等デイサービス事業所
- **参加者** 富山県内の放課後等デイサービス事業所を利用する児童及びその家族、職員  
約200名の参加児童を予定  
【現地会場】過密を防ぐため募集人数を制限、児童50名程度  
【オンライン参加】事業所毎での参加、募集人数は各事業所が決定
- **参加料** 無料
- **目 的** 発達に特性を持つ児童は、運動会や集団でのスポーツ競技に参加が難しいケースが多く見られる。これは通常とは異なる環境、長時間の拘束が児童の負担となり、感覚過敏や集団行動の苦手等の特性が要因とされる。特に普通学級では、合理的配慮や支援が不足しており、運動やスポーツに親しむ機会が失われている。  
そして児童の自立支援や健全な育成を行う放課後等デイサービス事業所と連携し、学校では実施困難な障害や発達特性に配慮した運動会を開催する。必要な配慮のもとに誰もがスポーツに親しむ機会を提供し、スポーツの普及や健康増進を図ることを目的とする。また地域協働型の事業として、福祉・教育関係者、学生、ボランティア等が企画・運営に携わり、地域社会に広く活動を発信することで、活動趣旨と障害理解の普及に努める。
- **概 要** 新型コロナウイルス対策を想定した新しい生活様式や ICT 教育推進等の昨今の社会情勢を鑑み、実際の会場に加え、各放課後等デイサービス事業所がオンラインで参加するハイブリット型運動会とする。オンライン参加により、慣れない場所や大人数が苦手な児童、遠方で移動が困難な児童でも参加が可能となり、より多くの人とのコミュニケーションを図ることができる。  
運動会はルールの特約化や空き時間の省略、途中入退場を認める等の障害

特性に配慮したプログラム構成とする。また参加事業所内の広さも考慮し、走ったり、大きく移動したりする競技は行わず、狭い範囲で行える競技を行う。

県内規模の放課後等デイサービス事業所の合同運動会は全国的にも事例が少なく、また今回初めて実施する障害児のハイブリット型運動会は、これまでにない全く新しい事業となる。そのため、プログラム考察や活動で得られた情報を蓄積し、地域や福祉・教育関係者に向けて広く情報を発信することで、地域社会に貢献する。また富山大学及び富山福祉短期大学で福祉・教育を学ぶ学生もプログラム立案のグループワークに加わり、当日の運営スタッフとして参加する。次世代を担う若者の学習の場としても活用する。

- 主 催 富山県放デイゆるゆる大運動会実行委員会
- 後 援 (申請予定) 富山県、富山県教育委員会、富山県発達障害者支援センター、公益財団法人富山県体育協会、富山市放課後等デイサービス連絡協議会、富山大学、富山福祉短期大学、北日本新聞社
- 協 力 特定非営利活動法人笑顔スポーツ学園、株式会社 COZY
- 助 成 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金